

名古屋市 地域振興課

学区広報紙紹介

★旗屋学区広報紙の作成者にインタビューしました★

こちらが広報紙を作成されている(前列左から)平島さん、長尾さん、高木さん、長濱さん、(後列左から)野垣さん、尾崎さん、大森さん、浅野さんです。
※欠席者:田中さん、安澤さん



①広報紙の役割とは？

- 広報紙を発行したきっかけは、町内会加入促進でした。
- 地域密着型で、広報紙による意見交換づくりを目指しています。学区内のニュースを主体に、住民が興味を持っているものを掲載することで、学区を盛り上げたいです。

②広報紙を作る体制は？

- 編集委員は10人体制です。記事の掲載依頼は、主にメールで受け付けており、400字から800字の記事を送付していただいております。
- 現在は2人が中心となりレイアウトやイラスト、記事内容の確認・編集などを行っています。クラウドサービスを使い、編集委員全員で情報を共有し、いつでも記事の確認や意見の交換ができるようにしています。
- このようにネットを利用して編集を進めていますが、毎月1回の編集会議で紙面を決定します。この会議で10人が直接会うことを大切にしており、お互いに協力して「旗屋学区だより」をより良いものにして、地域の情報を発信していきたいと思っています。

③発行頻度・配布方法は？

- 毎月発行しており、現在2,300部を組長が各戸配布しています。
- 区役所やコミュニティセンター、各町内会で掲示もします。
- マンションによっては、余った広報紙を誰でも持って行くことができるように配架しているところもあります。

④広報紙作りで工夫していることは？

- 10数年間、川柳を集めたり、飽きないで興味を持って読んでもらえるようにと、苦労しながら工夫してきました。
- 最近ではふれあいサロンの記事や、学区の行事はもちろん、学区内で開催される珍しいイベント(ハチミツしぼり体験、ペットボトルロケット作り、植木の剪定教室など)も紹介し、赤ちゃん？から高齢者まで楽しく読んでいただき、催しに参加してくださる方が増えるといいなと紙面づくりをがんばっています。

⑤広報紙に対する住民の反応は？

⑥広報紙によって地域コミュニティに変化は？

- グアテマラから小学生の仲間が増えましたが、母国語のスペイン語でのコミュニケーションが取れずに苦労していました。学区だよりで通訳のボランティアを募集したところ、応募があり問題を解決できました。
- また、9月3日の区の防災訓練では、115名の参加が必要なため、学区だよりで2ページにわたり周知したところ、200名もの学区民が参加してくれました。
- その他にも、学区だよりで行事を掲載したところ、たくさんの応募があったなどの主催者からの声を聞くこともあります。開催日を忘れないように“ふれあいサロンの予定”を家に貼って参加してくださる方もいます。みなさん、よく読んでくださり、活用してくださっているようです。

⑦広報を担当していてよかったこと(やりがい)は？

○周知したイベントなどに多くの人が参加してくれた時です。

⑧発行費用はどれくらいですか？

- 学区連協の補助金で発行しています。
- 印刷は、印刷機がないので、最寄りのコミセンの印刷機を使用しています。
- 費用は、製版に表裏両面で200円、印刷は1枚につき1円、そのほかに用紙代が必要です。紙の持ち込みなどの配送は広報担当者が行っています。

**旗屋学区広報紙の作成者様、
ご協力ありがとうございました！！**